

幅広い知識と教養を培う普通科高校として、地域等との連携や課題解決型学習、ICT（情報通信技術）を活用した学びの推進により、主体性を高める教育活動を通して、社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

育てたい生徒像

- 知識や技能を身につけ、さまざまな場面で有効に活用することができる生徒
- 急激に変化する時代の中で、自己や他者を認め、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができる生徒
- 主体的に目標を設定し、振り返りながら、責任ある行動がとれる生徒

学びの内容・方法

○“私は授業を持ち歩く”をキャッチフレーズに、「ICTの活用」を土台として、「PBL（課題解決型学習）」や「地域での体験活動」、オンラインによる「時間・空間を越えた教育活動」を通して、自身の興味・関心を知り、学ぶ意欲を高めます。
○日本のICT教育のトップランナーとして教員も学び続け、授業をはじめ学校生活の全般でChromebookを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。



○マイドリームプロジェクト（総合的な探究の時間）では、SDGs（持続可能な開発目標）の中から自分の進路に沿ったテーマについて探究活動を行い、その成果を発表します。
○本校独自の教科である「みまさか学」では、PBL（課題解決型学習）を通して、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成し、さらにその能力が教科横断的に発揮されることを目指します。



授業
進路指導

○1年次では、全員が共通の科目を学び、2年次から、進路希望によって文系・理系に分かれます。文系はさらに特別進学・総合探究の2つの類型に分かれ、個々に応じた科目を選択することで自身の進路に最適な学習を進めることができます。また、マイドリームプロジェクト（総合的な探究の時間）やLHRの活動では、自身の適性や進路を考えます。



ICT
環境

PBL
（課題解決学習）

学校行事
国際交流

○部活動や生徒会活動、ボランティア活動などによる小中学生との交流、姉妹校との国際交流、その他さまざまな活動を通して、豊かな人間性を育成します。



事例校

Google
for Education

求める生徒像

- 大学進学等の進路実現に向けて、主体的に学習する強い意志がある生徒
- 自ら課題を見つけ、課題解決のために積極的に行動しようとする生徒
- 生徒会活動、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組む生徒